

平成 30 年度 施策評価表

施策 (章)	第 7 章『街づくり』							
まちづくりの目標	誰もが安全で快適に暮らせる 自然と調和した街づくりを進めます							
分野別計画・指針	所沢市街づくり基本方針、所沢市ひと・まち・みどりの景観計画、所沢駅周辺まちづくり基本構想、所沢市中心市街地街並み整備計画、所沢市住生活基本計画、所沢市橋梁長寿命化修繕計画、所沢市水道事業長期構想、所沢市水道事業基本計画、所沢市水道事業中期経営計画、市街化調整区域下水道整備基本計画、所沢市下水道事業経営計画、所沢市生活排水処理基本計画、改定所沢市建築物耐震改修促進計画							
予算額	平成30年度当初予算	100,250	百万円中	10,196	百万円	構成率	10.2	%
基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針								
◆ 地域の特性に合った街づくりの推進								
◆ 所沢らしい良好な景観の形成								
◆ 所沢駅周辺をはじめ、各鉄道駅周辺などの生活拠点の整備促進								
◆ 安全性・利便性向上のための幹線道路や生活道路の築造・整備								
◆ 災害に強いインフラへの転換								
◆ 米軍所沢通信基地の返還に伴う跡地の有効利用								
基本構想で掲げた「市の課題・方向性」への取り組み状況に対する振り返り								
<p>○旧暫定逆線引き地区のうち、市街化区域編入を目指す若松町地区、牛沼地区、上安松地区、下安松地区においては、土地区画整理事業の仕組みなどについて理解を図る地権者説明会等の支援を重ねた結果、各地区とも地権者有志による区画整理事業の実施を目的とした発起人会が発足し、若松町地区は区画整理事業の具体的な検討を進めるための準備会まで組織した。一方、市街化区域編入を断念する北中地区、上山口地区については、用途地域の廃止に向けた関係部署との協議を進めた。また、土地利用転換推進エリアについては、三ヶ島工業団地周辺地区を優先的に進めることとし、地権者に対し事業の仕組みなどについて理解を図る説明会等の支援を重ねた結果、地権者有志による発起人会が発足した。</p> <p>○所沢市街づくり基本方針の改定にあたり、素案作成に必要な本市の街づくりの現状を整理するための基礎調査、現行の街づくり基本方針の評価や論点整理及び総合交通体系調査を行った。</p> <p>○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備事業に関して、国等との連携を図りながら、基地内道路や地下洞道の工事を実施するとともに、土壌のボーリング調査を実施した。</p> <p>○所沢駅西口地区の街づくりについては、平成28年6月に所沢駅西口土地区画整理事業の換地計画の認可を受け、工事に着手するとともに、平成29年9月に所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業の権利変換計画の認可を受け、工事に着手した。</p> <p>○日東地区の所沢東町地区第一種市街地再開発事業については、平成30年1月に事業計画変更認可、同年2月に権利変換計画認可を行った。また、組合に対し権利変換計画作成費・用地費・補償費に係る補助金を交付するとともに、指導・助言等の支援を行った。</p> <p>○北秋津・上安松地区については、平成29年4月に所沢市北秋津・上安松土地区画整理組合の設立及び事業計画の認可を行った。また、組合が行う測量・換地設計等に係る費用の助成を行うとともに、指導・助言等の支援を行った。さらに、事業地内の緑地保全に向けて、組合の協力を得ながら緑地の所有者に承諾を得て、市が借地する「市民の森」の指定を行った。</p> <p>○都市計画道路北野下富線、松葉道北岩岡線の整備を進めており、北野下富線2工区、延長260mを平成29年4月17日に供用開始した(松葉道北岩岡線は北所沢町交差点から延長210m区間を平成30年5月22日に供用開始した。)。市道4-245号線(ハナミズキ通り)で電線共同溝整備を主軸にした包括的な道路整備が完了した。</p> <p>○「西所沢駅西口開設整備計画」(平成27年度策定)に基づき、西口開設用地及び道路拡幅用地の取得、関係機関との協議等を行った。</p> <p>○上水道を災害に強いライフラインとするため、第一浄水場浄水池の耐震診断、西部加圧ポンプ場1号池の耐震補強工事を行った。</p> <p>○下水道事業の経営の健全化に向け、下水道使用料を見直すとともに、「所沢市下水道事業経営計画」を策定した。</p>								
基本構想で掲げた「まちづくりの目標の実現に向けた主な方針」の実行にあたって、特に力を入れていくこと。								
<p>○旧暫定逆線引き地区のうち、市街化区域編入を目指す若松町地区、牛沼地区、上安松地区、下安松地区においては、地区の熟度に即し、地権者組織(発起人会・準備会)の活動を支援し、土地区画整理事業の具体的な検討を進めていくための準備会の発足、さらに組合の設立を目指す。一方、市街化区域編入を断念する北中地区、上山口地区については、用途地域の廃止に向け関係部署との協議を進める。また、土地利用転換推進エリアのうち先行して進める三ヶ島工業団地周辺地区については、地区の熟度に即し、地権者組織(発起人会)の活動を支援し、区画整理事業の具体的な検討を進めていくための準備会の発足を目指す。</p> <p>○所沢市街づくり基本方針の改定に向けて、所沢市街づくり基本方針改定委員会をはじめ様々な庁内外の意見を踏まえ、平成30年度中に素案作成を進める。</p> <p>○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備に関して、国等との連携を図りながら、東西連絡道路及び基地内の既存施設の移設等に係る工事と一部返還に向けた取り組みを進める。</p> <p>○所沢駅西口地区の街づくりについては、権利者の理解を得ながら計画通りに土地区画整理事業を推進し、早期完了を目指していく。また、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業(組合施行)に対し、助言・指導及び支援を行う。</p> <p>○主要幹線道路である埼玉県施行の飯能所沢線、東京狭山線の未整備区間の建設促進を図るとともに、市内幹線道路のうち優先して北野下富線、松葉道北岩岡線の整備を進める。また、地域の活性化や利便性の向上を目的とする市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路1工区、延長約460m)を平成30年度に供用開始する。</p> <p>○西所沢駅周辺の安全性・利便性向上のため、橋上駅舎化及び東西自由通路の整備を目指すこととし、今年度中には鉄道事業者との基本協定を締結する。また、送迎専用転回広場につながる市道の拡幅整備を行う。</p> <p>○上水道を災害に強いライフラインに構築するため、配水池等の耐震補強工事を計画的に進める。</p> <p>○第3期市街化調整区域の下水道整備を平成31年度に完成させるため、計画的に工事を進める。</p> <p>○緊急輸送道路閉塞建築物の所有者に対して、耐震化の必要性や耐震に係る補助制度の活用等について、理解が得られるよう粘り強く働きかけていく。</p>								
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	街づくり計画部長 吉田 直樹					

指標の達成状況	節	目標指標	単位	(H25)現状値	H29年度実績	H29年度目標値	H30年度目標値
	第1節 土地利用	都市景観や街並みの満足度	%	66.9	63.6	現状値以上	現状値以上
	東西連絡道路の整備	-	調査(H26)	工事	工事	工事	
第2節 市街地整備	所沢駅の1日平均乗降客数	人	96,485	102,732	→	100,000	
	地区計画・建築協定の策定地区数	地区	33	35.0	→	36	
第3節 道路	都市計画道路の整備状況	%	69	70.5	→	71	
	幹線道路を利用した車での平均移動時間	分	18(H26)	18.4	→	17	
	規格改良済車道延長	km	528	538.4	→	538	
第4節 交通	「ところバス」利用者数	人	353,217	392,967	373,000	378,000	
	ノンステップバスの導入率	%	78.2	86.7	79.5	80.8	
第5節 上水道	自己水源(取水井)の点検実施率	%	30	70	70	80	
	配水池の耐震化率	%	25.0	71.7	60.9	71.7	
第6節 下水道	下水道普及率	%	92.9	93.7	93.8	94.0	
	マンホールの耐震化率	%	13.7	86.3	100	100	
第7節 住宅・住環境	居住環境の満足度	%	66	65	現状値以上	現状値以上	
	長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数	件	220	1,212	1,100	1,320	

第1節	土地利用	魅力あるまちとして、人が集うまち		
基本方針	7-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進			
	7-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進			
	7-1-3 基地返還と跡地利用の促進			
関係所属	企画総務課、都市計画課、市街地整備課、開発指導課、建築指導課			
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)				
	要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
	909人	41.4%	16位	4位

節の基本方針への取り組み状況

◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り
 ○旧暫定逆線引き地区のうち、市街化区域編入を目指す若松町地区、牛沼地区、上安松地区、下安松地区においては、土地区画整理事業の仕組みなどについて理解を図る地権者説明会等の支援を重ねた結果、各地区とも地権者有志による区画整理事業の実施を目的とした発起人会が発足し、若松町地区は区画整理事業の具体的な検討を進めるための準備会まで組織した。一方、市街化区域編入を断念する北中地区、上山口地区については、用途地域の廃止に向けた関係部署との協議を進めた。
 ○土地利用転換推進エリアについては、三ヶ島工業団地周辺地区を優先的に進めることとし、地権者に対し事業の仕組みなどについて理解を図る説明会等の支援を重ねた結果、地権者有志による発起人会が発足した。
 ○所沢市街づくり基本方針の改定にあたり、素案作成に必要な本市の街づくりの現状を整理するための基礎調査、現行の街づくり基本方針の評価や論点整理及び総合交通体系調査を行った。
 ○「所沢市ひと・まち・みどりの景観条例・計画」に基づき、景観市民活動クラブと春・冬季の景観街づくり展示会を開催するなど、市民主体の活動と連携した取組を進めた。
 ○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備事業に関して、国等との連携を図りながら、基地内道路や地下洞道の工事を実施するとともに、土壌のボーリング調査を実施した。

◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析
 ○目標指標の「都市景観や街並みの満足度」については、平成28年度は63.8%、平成29年度は63.6%とほぼ横ばいとなっているが、この指標では、街並みの場所の設定がない満足度であり、幅広い要素が含まれているため、原因の特定は難しい。

今後の方向性

◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容
 ○旧暫定逆線引き地区のうち、市街化区域編入を目指す若松町地区、牛沼地区、上安松地区、下安松地区においては、地区の熟度に即し、地権者組織(発起人会・準備会)の活動を支援し、土地区画整理事業の具体的な検討を進めていくための準備会の発足、さらに組合の設立を目指す。一方、市街化区域編入を断念する北中地区、上山口地区については、用途地域の廃止に向け関係部署との協議を進める。
 ○土地利用転換推進エリアのうち先行して進める三ヶ島工業団地周辺地区については、地区の熟度に即し、地権者組織(発起人会)の活動を支援し、区画整理事業の具体的な検討を進めていくための準備会の発足を目指す。
 ○所沢市街づくり基本方針の改定に向けて、所沢市街づくり基本方針改定委員会をはじめ様々な庁内外の意見を踏まえ、平成30年度中に素案作成を進める。
 ○市民主体の街づくりについては、街づくり協議会の結成支援をはじめ、具体的な検討を進めている街づくり協議会への街づくりアドバイザーの派遣など、地区の状況に応じた支援を行う。
 ○景観まちづくりについては、とことこガーデン及び景観資源の登録増加や景観市民活動クラブ等市民との連携を推進する。
 ○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備に関して、国等との連携を図りながら、東西連絡道路及び基地内の既存施設の移設等に係る工事と一部返還に向けた取組を進める。

◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容
 ○目標指標の「都市景観や街並みの満足度」については、良好な都市景観や街並みの形成に寄与する地区計画・建築協定・街づくり協定(所沢市街づくり条例)などの活用をはじめ、景観資源などの地域の魅力の発信や活用など総合的に取り組むことで、満足度の向上につなげていく。

特に力を入れる事務事業	所沢市街づくり基本方針改定事業	土地利用転換推進事業	東西連絡道路整備事業		
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	経営企画部次長 林 誠、街づくり計画部次長 吉田 直樹、街づくり計画部 土地利用推進担当参事 山口 敏弘		
第2節	市街地整備	地域の特性を活かした安全で活力ある街			
基本方針	7-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進				
	7-2-2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進				
	7-2-3 市街地整備の適正な誘導				
関係所属	経営企画課、都市計画課、市街地整備課、開発指導課、建築指導課、狭山ヶ丘区画整理事務所、所沢駅西口区画整理事務所				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		1,012人	46.1%	8位	3位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢駅西口区画の街づくりについては、平成28年6月に所沢駅西口土地区画整理事業の換地計画の認可を受け、工事に着手するとともに、平成29年9月に所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業の権利変換計画の認可を受け、工事に着手した。</p> <p>○日東地区の所沢東町地区第一種市街地再開発事業については、平成30年1月に事業計画変更認可、同年2月に権利変換計画認可を行った。また、組合に対し権利変換計画作成費・用地費・補償費に係る補助金を交付するとともに、指導・助言等の支援を行った。</p> <p>○北秋津・上安松地区については、平成29年4月に所沢市北秋津・上安松土地区画整理組合の設立及び事業計画の認可を行った。また、組合が行う測量・換地設計等に係る費用の助成を行うとともに、指導・助言等の支援を行った。さらに、事業地内の緑地保全に向けて、組合の協力を得ながら緑地の所有者に承諾を得て、市が借地する「市民の森」の指定を行った。</p> <p>○「所沢駅周辺まちづくり連絡協議会」を開催し、駅周辺の回遊性の創出や安全で快適な歩行空間等の創出に向けた歩行者ネットワーク、また既存商業との連携を図るための意見交換を行った。</p> <p>○地区計画については、東所沢サニータウン街づくり協議会が主催する勉強会等に街づくりアドバイザー派遣を行うなどの支援を通じて、地区計画の素案を取りまとめた(平成30年度の都市計画決定に向けて手続中)。また、建築協定については、期間満了を迎える2地区(北野台地区、弥生町4・5・6組地区)について、更新の申請に基づき、認可を行った。</p>					
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○所沢駅西口区画の街づくりについては、早期完了を目指し、権利者の理解を得ながら計画通りに土地区画整理事業を推進していく。また、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業(組合施行)に対し、助言・支援を行う。</p> <p>○所沢駅周辺のにぎわい創出を図るため、来街者等の増加に対応する基盤整備を進める。</p> <p>○日東地区まちづくりについては、所沢東町地区第一種市街地再開発事業(組合施行)に対し、平成30年度の施設建築物工事着手に必要な助言・支援を行う。</p> <p>○北秋津・上安松地区の所沢市北秋津・上安松土地区画整理組合に対し、平成31年9月の仮換地指定に向けて測量・換地 設計業務等に係る助言・支援を行う。</p> <p>○「所沢駅周辺まちづくり連絡協議会」において、駅周辺の回遊性の創出や安全で快適な歩行空間等の創出に向けた歩行者ネットワーク、また、所沢駅周辺一帯の商業の連携による街づくりの協議を進める。</p>					
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容					
特に力を入れる事務事業	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画まちづくり事業	北秋津・上安松地区まちづくり事業		
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	街づくり計画部次長 吉田 直樹		
第3節	道路	人と環境に優しく、誰もが安全・快適に道路を利用できるまち			
基本方針	7-3-1 道路計画の推進				
	7-3-2 幹線道路の建設推進				
	7-3-3 生活道路の整備推進				
	7-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進				
	7-3-5 道路環境の整備				
関係所属	都市計画課、建設総務課、道路建設課、計画道路整備課、道路維持課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		1,234人	56.2%	1位	1位

節の基本方針への取り組み状況			
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○都市計画道路北野下富線、松葉道北岩岡線の用地取得、道路工事を進め、北野下富線2工区、延長260mを平成29年4月17日に供用開始した。(松葉道北岩岡線は北所沢町交差点から延長210mの区間を平成30年5月22日に供用開始した。)</p> <p>○市道4-245号線(ハナミズキ通り)の防災機能や景観の向上などを目的とした電線共同溝の整備と、誰もが歩きやすい歩道整備などの包括的な道路整備が完了した。</p> <p>○生活道路である市道6路線、延長865mの拡幅・歩道整備の改良工事を行うとともに、舗装の傷みが著しい市道10路線の補修工事を実施した。</p> <p>○橋りょう長寿命化修繕計画に基づき所沢陸橋の耐震補強工事及び松戸橋の修繕詳細設計を実施したほか、93橋の橋りょうについて5年に一度の法定点検及び診断を実施した。</p>			
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析			
今後の方向性			
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○市内中心部の慢性的な交通渋滞の解消に向け、主要幹線道路である埼玉県施行の飯能所沢線、東京狭山線の未整備区間の建設促進を図るとともに市内幹線道路のうち、優先して北野下富線、松葉道北岩岡線の整備を進める。</p> <p>○地域の活性化や利便性の向上を目的とする市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路1工区、延長約460m)を平成30年度に供用開始する。</p> <p>○高齢者や障害者などを含む全ての歩行者・自転車利用者が安心安全に利用できるよう、バリアフリーに配慮した歩道や自転車レーン等の整備を進める。</p>			
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容			
特に力を入れる事務事業	北野下富線道路築造事業	松葉道北岩岡線道路築造事業	市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	建設部次長 埜澤 好美

第4節	交通	多様な交通手段を用いて、誰もが安心・安全に移動できるまち			
基本方針	7-4-1 交通政策の推進				
	7-4-2 安全で快適な交通環境の整備				
	7-4-3 鉄道・バスなどの公共交通の充実				
関係所属	交通安全課、企画総務課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		1,034人	47.1%	7位	2位

節の基本方針への取り組み状況			
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○所沢市地域公共交通会議において、新しい交通手段(形態)の導入に向けた検討を開始した。</p> <p>○「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区、所沢市で構成)」において、東京都、埼玉県への要望活動や今後の協議会での調査研究について検討を進めた。</p> <p>○「西所沢駅西口開設整備計画」(平成27年度策定)に基づき、西口開設用地及び道路拡幅用地の取得、関係機関との協議等を行った。</p> <p>○平成30年10月に予定しているところバス運行経路の見直しについて、地域公共交通会議への諮問など、準備作業を行った。</p>			
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析			
今後の方向性			
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○西所沢駅周辺の安全性・利便性向上のため、橋上駅舎化及び東西自由通路の整備を目指すこととし、今年度中には鉄道事業者との基本協定を締結する。また、送迎専用転回広場につながる市道の拡幅整備を行う。</p> <p>○平成30年10月1日から、ところバスの一部経路の変更を行う。</p> <p>○効率的で利便性の高い、新たな交通手段(形態)の導入に向けて、地域の市民と協働して検討を進める。</p> <p>○東所沢駅周辺のまちづくりを進めるとともに、都市高速鉄道12号線延伸促進協議会において要望活動や調査・研究活動を進める。</p>			
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容			
特に力を入れる事務事業	地域公共交通検討事業	西所沢駅西口開設推進事業	都市高速鉄道12号線導入促進事業
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	経営企画部次長 林 誠 市民部次長 鈴木 哲也

第5節	上水道	災害に強く、安全で良質な水が安定して供給されるまち			
基本方針	7-5-1 水資源の確保と有効利用				
	7-5-2 安全な水の安定供給				
関係所属	総務課、経営課、水道建設課、給水管理課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		465人	21.2%	42位	7位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○旧水道庁舎用地を貸付けるために、倉庫として利用していた旧水道庁舎の代替倉庫の建設、旧水道庁舎解体工事の設計を行った。</p> <p>○湧水時や災害時などの水源として活用できるよう、2本の取水井(第一系第6号、南部系第6号)の清掃及び機能診断を行った。</p> <p>○水道通水80周年を迎え、水道事業の理解促進のため、ペットボトル水の配布、水道事業DVDの作成、夏休み浄水場見学会等を行った。</p> <p>○将来にわたり効率的な水運用を継続するため、配水池や取水井など水道施設の適正規模に係る調査及び分析を行った。</p> <p>○災害に強いライフラインを構築するため、第一浄水場浄水池の耐震診断、西部加圧ポンプ場1号池の耐震補強工事を行った。</p> <p>○安全で良質な水道水を安定して供給するため、老朽化した水道管を耐久性・耐震性のある管に17,640m更新した。</p>					
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○湧水時や災害時などの水源として活用できるよう、取水井の清掃及び機能診断を計画的に進める。</p> <p>○災害に強いライフラインを構築するため、配水池等の耐震補強工事を計画的に進める。</p> <p>○安全で良質な水道水を安定して供給するため、老朽化した水道管を耐久性・耐震性のある管に計画的に更新する。</p>					
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容					
特に力を入れる事務事業		浄水場整備事業(耐震補強事業)	導・送・配水管整備事業	取水施設保全事業	
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	上下水道局長 肥沼 宏至		
第6節	下水道	災害に強く、生活環境の改善や水環境の保全に寄与する下水道が整備されたまち			
基本方針	7-6-1 下水道事業経営の効率化				
	7-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全				
	7-6-3 災害に強い下水道整備の推進				
関係所属	資源循環推進課、総務課、経営課、下水道整備課、下水道維持課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		557人	25.4%	40位	6位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○生活環境の改善と水質保全を図るため、第3期市街化調整区域に汚水管を8124.5m布設した。</p> <p>○清掃施設建設に協力して頂いた地域の生活環境の向上を図るため、該当地域に汚水管を386.9m布設した。</p> <p>○下水道施設で耐震化が必要なマンホール12箇所の耐震工事を行った。</p> <p>○老朽化した管渠の耐用年数の延伸を図るため、元町地内ほかにて下水管214.4mの更正工事を行った。</p> <p>○業務の機動性向上を図るため、市内の東部地区に位置していた下水道管理事務所を、市の中心部にある未利用の市有地に移転した。</p> <p>○下水道事業の経営の健全化に向け、下水道使用料を見直すとともに、「所沢市下水道事業経営計画」を策定した。</p>					
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析					
<p>○目標指標の「下水道普及率」については、人口予測に誤差が生じた。</p> <p>○目標指標の「マンホールの耐震化率」については、排水量を確保するため、同一年度に耐震化を行えなかった。(7箇所)</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○第3期市街化調整区域の整備を計画的に進めるとともに、第4期市街化調整区域の整備を開始するための準備を進める。</p> <p>○清掃施設建設に協力して頂いた地域の生活環境の向上を図るため、下水道を整備する。</p> <p>○老朽化した管渠の耐用年数の延伸を図るため、老朽化した管渠の更正工事を計画的に進める。</p> <p>○都市化の進展やゲリラ豪雨増加により内水被害が発生していることから、内水被害の軽減を図るため、雨水樹の浸透化を進める。</p> <p>○上下水道局の財産であるマンホールを広告媒体として活用し、民間事業者等の広告を掲載することにより新たな財源の確保に努める。</p>					
◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容					
<p>○目標指標の「下水道普及率」については、下水道整備を計画的に進める。</p> <p>○目標指標の「マンホールの耐震化率」については、施工方法を検討し、順次、耐震化を進める。</p>					
特に力を入れる事務事業		下水道管渠布設事業	下水道地震対策事業	下水道長寿命化事業	
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	上下水道局長 肥沼 宏至		

第7節	住宅・住環境	誰もがいつまでも安心して住み続けられるまち			
基本方針	7-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進				
	7-7-2 適正な公営住宅の管理・運営				
	7-7-3 住生活の安定と質の向上				
関係所属	市街地整備課、建築指導課				
施策に対する市民ニーズ（「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果）		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		775人	35.3%	25位	5位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○住環境等の向上のために作成した「所沢市住生活基本計画」の進行管理を実施し、ホームページで公表した。</p> <p>○埼玉県住宅供給公社への市営住宅の管理代行委託により、効率的な管理運営が図られた。</p> <p>○マンション管理組合及び居住者を対象とし、マンション管理士会との連携によるマンション管理無料相談会や基礎セミナーを開催した。</p> <p>○市内の分譲マンション管理状況に関するアンケートを実施し、マンション管理の問題点や、現状の把握に努めた。</p> <p>○一戸建て住宅の耐震診断・耐震改修の補助件数が見込みより下回り、特定既存耐震不適格建築物については補助申請がなかった。</p> <p>○緊急輸送道路閉塞建築物の耐震化の促進に向けて、建物所有者に意向確認のためのアンケート調査を行った。</p>					
<p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○目標指標の「居住環境の満足度」については、平成28年度は66.0%、平成29年度は65.0%とほぼ横ばい(微減)となっているが、この指標には、街並みなどの周辺環境、住宅の広さや採光、通風などの住環境への満足度といった幅広い要素が含まれているため、原因の特定は難しい。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○「所沢市住生活基本計画」の施策についてPDCAによる進行管理を行う。</p> <p>○市営住宅等長寿命化計画の見直しを検討しながら、計画的な市営住宅の修繕を進め良好なストックの活用を図る。</p> <p>○市営住宅においては管理代行の効果を検証しながら、適正かつ効率的な運営につなげ、契約の更新を進める。</p> <p>○所沢市公共施設等総合管理計画に併せ市営住宅の在り方について検討を進める</p> <p>○分譲マンションの管理状況について引き続き把握をしていく。</p> <p>○契約期間満了を迎える借上げ住宅の再契約を行う。</p> <p>○緊急輸送道路閉塞建築物の所有者に対して、耐震化の必要性や耐震に係る補助制度の活用等について、理解が得られるよう粘り強く働きかけていく。</p> <p>○建築物の耐震化について、広く、市ホームページ、広報紙、耐震相談会等を通じて、補助制度はじめ、耐震化に係る情報提供等に継続的に取り組み、市民の意識高揚に努める。</p>					
<p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○目標指標の「居住環境の満足度」については、景観計画や街づくり条例による助言・指導を引き続き行うとともに、住生活に関する施策等を総合的に取り組むことで、満足度の向上につなげていく。</p>					
特に力を入れる事務事業	我が家の耐震診断・耐震改修事業	市営住宅施設整備事業	市営住宅運営事業		
評価日	H30.7.23	記入者職氏名	街づくり計画部次長 吉田 直樹		